

和歌山への私の提言

廖 昱涵

(観光学部 正規留学生) (台湾)

和歌山に来てもう四ヶ月を経ちました。この前、東京の新宿に半年に住んでいたので、和歌山に来たばかりのときはほんまに慣れていませんでした。東京とは全く違って、店も少ないですし、遊びの所もないそうです。静かでちょっと寂しい感じがしました。

しかし、住む時間と伴って、気分も変わりました。きれいな白浜と熊野神社や面白いアドベンチャーワールドやかわいいたま駅長など、和歌山にあるいいところを発見しました。

もちろん、和歌山市に住んでいますので、会館周辺にいろいろな食べものや遊ぶところもだんだんみつけましたが、南海和歌山市駅に一つ提言をさせていただきたいと思います。それは、ペDESTリアンデッキの建設です。

ペDESTリアンデッキとは、高架等によって車道から立体的に分離された歩行者専用通路です。ペDESTリアンデッキの建造は市駅にとってメリットが沢山あると思います。まず駅前の大きな横断歩道を渡る必要がなくなります、これで駅前の商店街にも行きやすくなると思います。そして大切なのは、遠くからでも広場でイベントが行われているのが目に入る様にする事です。例に広場にテントを立てて、日陰の下で商品を売ったりするのはどうでしょうか、この前私たちが市駅を訪れた際、確かに竜神温泉や野菜の販売が行われていました。しかし、皆階段の後ろの陰に隠れており、よい宣伝効果がなかったように思います、それをペDESTリアンデッキの広場の真ん中で行って、周囲にも見えるようにすれば、イベントに引き寄せられるお客様も増えるのではないのでしょうか。

これからも、もっと和歌山県のことを発見しようと思います。ここに来てほんまにうれしいです。



左は南海和歌山市駅の広場の写真。

右は千葉県柏市の柏駅東口のペDESTリアンデッキ。1973年に日本で初めての試みとして建設されたもの。